

ナンでインド?

VOL. 2

— インドの魅力を知る —



今回の「ナン」の中身

総選挙

一言
まとめインドの今後を占う
「世界最大の選挙」、始動

2024年4月から6月にかけてインドの連邦議会下院の総選挙が実施されます。約10億人の有権者による世界最大の選挙ともいわれており、今回の選挙結果次第ではモディ政権が3期目入りすることなどから、注目されています。

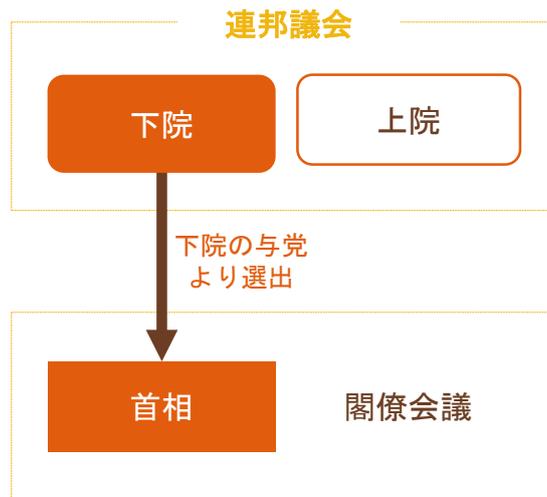
POINT

政治体制から見る

首相も選出される下院選



インドの連邦議会は下院と上院による二院制をとっています。今回選挙が行なわれるのは上院に対して権限の優位性を持ち、日本の衆議院に相当する下院です。下院議席の過半数を制した政党や政党連合から首相が選出されることから、インドの今後を占ううえで重要な選挙です。

インドの連邦議会と首相の関係
(イメージ)

上記はイメージ図であり、全てを網羅したものではありません。

POINT

経済面から見る

「モディノミクス」継続への期待



2期（10年間）連続で首相を務めているナレンドラ・モディ氏が率いるインド人民党は、2014年の選挙で圧勝し安定政権を樹立しました。以降「モディノミクス」と称される経済政策を積極的に推進し、インフラ整備や国外企業の誘致をはじめ数々の改革に取り組み、インドの変貌を支えてきました。

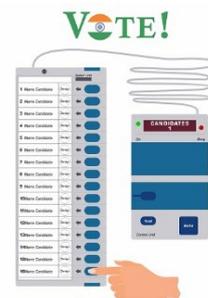
今回もインド人民党は雇用創出や製造業強化、インフラ整備などの経済政策の更なる推進を公約しており、より一層の改革が進展できるか、選挙結果が注目されます。

知っとこ!

選挙でのデジタル活用

多言語国家のインドでは、記名式の投票ができないため、政党のロゴが書かれたボタンを押す電子投票が行なわれ、**投票期間は1ヵ月半の長期戦**になります。

一方、投票データはデジタル化されているため、**開票は1日で、非常にスピーディー**です。



画像はイメージです。

(出所) 各種情報をもとに野村アセットマネジメント作成

野村アセットマネジメントからのお知らせ

<投資信託に係るリスクについて>

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

<投資信託に係る費用について> 2024年5月現在

ご購入時手数料 (上限3.85% (税込み))	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） (上限2.222% (税込み))	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンドの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 (上限0.5%)	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

<ご注意> 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

<当資料について> 当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。